

救急科

【一般目標】

- 1) 二次・三次の救急患者に対して、すばやく緊急度と重症度を把握し、救急患者に対する基本的な診察方法や救急処置を習得し、状況に合わせた適切な救急診療をおこなう判断能力を獲得する。
- 2) 救命救急センター内の入院患者を通して、集中治療における呼吸・循環管理について理解するとともに、チーム医療の意義について学ぶ。

【到達目標（行動目標）】

●知識(cognitive domain)

- 1) A B C D Eアプローチについて具体的に述べることができる。
- 2) 血液ガス分析の項目と意義を説明できる。
- 3) 人工呼吸器の仕組みを説明することができる。
- 4) 輸液の種類と役割について述べることができる。
- 5) 病態・疾患に応じて必要な検査を選択できる。
- 6) BLS の流れについて説明できる。
- 7) ACLS の流れについて説明できる。

●技能(psychomotor domain)

- 1) 外傷患者に対して、FAST を実施できる。
- 2) 末梢静脈路を確保することができる。
- 3) 循環血液量の評価を行うことができる。
- 4) 病態に応じた輸液を選択できる。
- 5) CPA 患者に対して BVM を用いた人工呼吸と胸骨圧迫を AHA ガイドライン 2015 に従って行うことができる。
- 6) 患者についての症例提示を実施できる。
- 7) 急性中毒の初期治療を行うことができる。

●態度・習慣 (affective domain)

- 1) 病診連携・病病連携の重要性を感じるができる。
- 2) 初療現場にてコメディカルと緊急時に円滑なコミュニケーションができる。
- 3) 他職種と合同して重症患者のチーム診療が実施できる。
- 4) 救急救命士や救急隊員と協力し、シームレスな救急診療を遂行できる。

- 5) 救急患者や患者家族の心理に配慮する。
- 6) 臨床上の疑問点を上級医に相談する。

【実習の内容】

- 1) 第1週の月曜日の午前8時30分に3A病棟医師控室に集合し、カンファレンスのあとに指導医によるオリエンテーションを行う。
- 2) 以後は指導医・初期臨床研修医・診療看護師と共に救急外来、病棟での実習を行う。
- 3) 診療看護師・研修医とともに入院患者の担当となり患者の診察を実習期間中継続して行う。
- 4) 適宜、シミュレーション実習を行う。
- 5) 最終日近くに自分が担当した患者のプレゼンテーションを行う。